

平成24年度町田市教育委員会
第9回定例会会議録

- 1、開催日 平成24年（2012年）12月14日
- 2、開催場所 第三、第四、第五会議室
- 3、出席委員
- | | | |
|-----|---|------|
| 委員 | 長 | 岡田英子 |
| 委員 | | 井関孝善 |
| 委員 | | 高橋圭子 |
| 委員 | | 佐藤昇 |
| 教育長 | | 渋谷友克 |
- 4、署名委員
- | | |
|-----|--|
| 委員長 | |
| 委員 | |
- 5、出席事務局職員
- | | |
|----------------|-------|
| 学校教育部長 | 坂本修一 |
| 生涯学習部長 | 守谷信二 |
| 学校教育部次長 | 内山重雄 |
| （兼）教育総務課長 | |
| 学校教育部次長 | 佐藤卓 |
| （兼）施設課長 | |
| 学校施設管理センター担当課長 | 平本進 |
| 学務課長 | 田中英夫 |
| 保健給食課長 | 高橋良彰 |
| 指導課長 | 小池慎一郎 |
| 指導課教育センター担当課長 | 谷博夫 |
| 指導課担当課長 | 吉川清美 |
| 統括指導主事 | 安齊和樹 |
| 生涯学習総務課長 | 神田貴史 |
| 生涯学習センター長 | 熊田芳宏 |
| 生涯学習センター課長補佐 | 小林正広 |
| 生涯学習部図書館担当部長 | 尾留川朗 |

(兼) 図書館長

図書館市民文学館担当課長

横須賀 秀 男

(町田市民文学館長)

図書館副館長

近 藤 裕 一

図書館担当課長

吉 岡 一 憲

書 記

持 田 優 子

書 記

増 田 和 博

速 記 士

帯 刀 道 代

(株式会社ゲンブリッジオフィス)

6、提出議案及び結果

議案第60号 町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について

原 案 可 決

議案第61号 学校歯科医の委嘱(解嘱)の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

承 認

議案第62号 都費負担教職員の休職に係る内申の臨時専決処理に関し承認を求めることについて

承 認

議案第63号 町田市指定有形文化財の指定について

原 案 可 決

議案第64号 まちだ市民大学HATSプログラム委員の委嘱について

原 案 可 決

7、傍聴者数 1名

8、議事の概要

午前 10 時 00 分開会

委員長 ただいまより町田市教育委員会第9回定例会を開会いたします。

本日の署名委員は佐藤昇委員です。

日程の一部変更をお願いいたします。日程第2、議案審議事項のうち、議案第62号は非公開案件ですので、日程第3、報告事項終了後、一たん休憩をとり、日程第4として、関係者のみお残りいただき、審議をしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議なしと認め、そのようにさせていただきたいと思えます。

以下、日程に従って進めてまいります。

日程第1、月間活動報告に入ります。

教育長から説明をお願いいたします。

教育長 それでは、前回の教育委員会定例会以降の教育委員会にかかわる活動について概略を報告いたします。

前回の教育委員会定例会は11月2日で行われました。同じ日に教育委員会の臨時会がありまして、委員長選挙が行われたところです。

11月3日、土曜日ですが、木曾中学校において30周年記念式典並びに祝賀会が行われましたので、各委員とともに出席をしております。

翌11月4日、日曜日に、中学校の連合演劇発表会がひなた村を会場に行われました。各委員とともに出席をし、ご挨拶をいたしました。

11月5日、月曜日ですが、市教委訪問ということで、本年度新設の小山中学校を訪れております。

翌11月6日、火曜日ですが、中学校の連合音楽会が開かれましたので、市民ホールにご挨拶に伺いました。

同じ日、職員の表彰審査会が行われましたので、これに出席をしております。市の職員並びに組織について、表彰の候補者について選定を行ったものでございます。

11月7日の水曜日ですが、定期的に行っております市長に対する教育委員会の活動報告をしております。

11月8日、木曜日は、研究発表会とありますけれども、11月8日と9日の両日にわたって、そこに行きます町田第四小学校、町田第五小学校並びに市民ホールを会場としたしまして、全国小学校道徳教育研究大会が開催されました。8日は町田第四小学校、町田第五小学校の研究発表だったわけですが、公開学習あるいは学年別の分科会等が開かれています。町田第四小学校につきましては文科省の協力校あるいは町田市の推進校、町田第五小学校につきましては東京都並びに町田市の研究推進校としての位置づけで、今回の研究発表に至ったものでございます。

同じ日、校長役員連絡会が行われましたので、出席をしております。

11月9日の市民ホールの行事につきましては今申し上げたとおりですが、開会行事あるいは課題別分科会等が市民ホールを会場で開催されております。各委員とともに出席

席をしております。

11月10日の土曜日ですが、小中一貫ゆくのき学園の開校記念式典・祝賀会がございましたので、各委員とともに出席をしております。この日はゆくのき学園の母体となりました大戸小学校、武蔵岡中学校の30周年記念でもございました。

11月12日、月曜日ですが、調布市におきまして、多摩地区人権教育研究協議会が開催されましたので、これに出席し、ご挨拶をしております。この日、小山中央小学校の内田校長先生が研究発表をしております。

同じ日に、川上村の振興公社の役員の方がご挨拶にお見えになりましたので、お会いをして、意見交換をしております。町田市の公立小学校の5年生は、全員が川上村にさまざまな季節に訪れ、お世話になっているという経過がございます。

11月13日の火曜日ですが、小山中学校に町田市の議員さんが視察に行かれないということでしたので、それに随行しております。小山中学校の制服の決定経過とか、現在の制服の状況等を視察したいというご意向でございました。

11月14日ですが、すみれ会の懇談会がございました。これはいわば恒例の行事になっているわけですが、毎年この季節に、主に特別支援教育について懇談、意見交換の機会をとっているものでございます。

同じ日に、都市教育長会の幹事会・定例会が自治会館で開催されましたので、出席をいたしました。

11月15日は定例校長会でございました。

11月17日、土曜日には、忠生第三小学校の50周年記念式典・祝賀会が開催されましたので、各委員とともに出席をしております。

同じ日に、町田工業高校も50周年式典がございましたので、こちらにもお伺いし、ご挨拶をしております。

11月19日の月曜日は、七国山小学校の市教委訪問でございました。

翌11月20日、火曜日ですが、鈴鹿市の教育委員長以下、教育委員の皆様が視察にお見えになりました。視察の対象としては、小中一貫教育ということで、ゆくのき学園等も含めた教育内容について、私どもも対応させていただいたということです。

同じ日に、矢部八幡の獅子舞保存会が市長を表敬訪問いたしました。これは後ほどの報告事項の中にもございますけれども、文部科学省から地域文化功労者ということで今回表彰をお受けになったので、市長のところにご報告においでになった。私はその場に立

ち合わせていただいたということでございます。

11月21日、水曜日ですが、第1回目となります教育プランの検討委員会がございまして、私は検討委員会の委員長をしておりますので、出席し、議事進行をしております。この検討委員会には、小学校、中学校双方から、おのおの2人の校長先生にも、委員としてご参加をいただいているところでございます。

11月22日は、南第四小学校における研究発表会がございましたので、これに出席をしております。町田市市の保健体育の研究推進校でもございまして、来年度、全国学校体育研究大会が、この南第四小学校を舞台に予定をされておりますが、そのプレ大会という位置づけになるものでございます。

ページをめくりまして、11月23日ですが、教育の日の講演会が市民フォーラムでございましたので、各委員とともに出席をしております。テーマは「子どもの自尊感情や自己肯定感の向上を目指して」ということで、先ほどもお話をさせていただきましたが、町田第五小学校の実践報告、あるいは講演会として、慶應義塾大学の伊藤美奈子先生による講演がございました。

11月23日から25日まで、国体のバドミントン競技のリハーサル大会が開催されていたのですけれども、私は25日の表彰式のプレゼンターとして出席をしております。大変な熱戦が繰り広げられておりました。

11月25日の日曜日ですが、青年会議所、J C 杯のサッカー大会の開会式が野津田公園の上の原グラウンドでございましたので、これに出席し、ご挨拶をまいりました。小学校3年生を対象とした大会でございます。

11月27日には、都市指導主事会の第2地区の連絡会がございましたので、そこに伺い、ご挨拶をまいりました。

同じ日、中P連、中学校PTA連合会の交流会がひなた村で開催されましたので、やはり各委員とともに出席をしております。今年度からこの交流会は新しい形式になっております。

11月28日から11月30日まで、小学校合同音楽会が開かれました。私は11月28日にご挨拶に伺っております。

11月29日から、12月議会、第4回定例会が始まりました。この日は本会議で提案理由説明でございます。委員長とともに出席をしております。

12月3日ですが、これも後ほどの議案の中でお話がございますけれども、文化財保護審

査会の答申をいただきました。文化財の積極的な活用ということで、市指定の文化財として縄文土器 2 点、絵図 1 点を指定する旨の答申をいただいたところです。

12月4日から12月11日まで市議会本会議が開催されまして、一般質問並びに質疑が行われております。委員長並びに井関委員とともに出席をしております。

12月9日の日曜日ですが、東京町田ロータリークラブの幼児画展の表彰式が国際版画美術館で開催されました。これは市内の幼稚園、保育園を対象に幼児画を募集し、そこで市長賞始め賞が決まるわけですけれども、教育長賞もございまして、そのプレゼンターを務めております。

最後に昨日、12月13日、木曜日、東京都教育庁の神楽坂庁舎におきまして、教育管理職の異動ヒアリングがございましたので、指導課長とともにこれに出席し、町田の来年度の管理職の異動について、いろいろヒアリングを受け、お願いをしておりました。

説明は以上でございます。

委員長 それでは、両部長から何かございますでしょうか。

学校教育部長 2012年の第4回町田市議会の定例会、12月議会でございますが、この中で、文教社会常任委員会が12月12日に開催されましたので、学校教育部所管分についてご報告差し上げたいと思います。

学校教育部では、条例、予算などの議案はございませんでしたが、行政報告といたしまして、町田市教育プランの改定について報告をいたしました。この報告内容は、既に教育委員会でご報告させていただいた改定方針のとおりでございます。また、特に主立った質問もございませんでした。

以上でございます。

生涯学習部長 今議会に関しては、生涯学習部に関しては、常任委員会で案件がございませんでしたので、出席をしておりません。

委員長 それでは、各委員から報告をお願いいたします。

高橋委員 今日は2つの報告と周年行事に参列したときの感想を述べたいと思っています。

11月27日、中学校PTA連合会交流会に参加いたしました。これまで各校コーラスを披露した音楽交流会が10年続き、その後、各校の寸劇やコーラスなど趣向を凝らした出し物を行ったP連祭が2年続き、今年は新たな試みとして、現役のPTA会員の代表をしている役員の交流と研修を目的としたP連交流会が開かれました。

開会式後、早速交流会が持たれましたが、副会長、会計、書記はカリヨンホール、広報は第一レクルーム、研修、文化、校外活動は第三レクルームと3カ所に分かれ、各部ごとに、さらに少人数のグループに分けられました。

グループには1人ずつPTA会長が司会進行役として入り、各役員から活動状況や日ごろ疑問に思っていること、悩みなどが出され、どのグループも活発に意見や情報の交換が行われていました。

私はカリヨンホールにいて、書記のグループや会計のグループを幾つか回りました。書記グループでは、運営委員会での議事録をいかにとり、どのようにまとめ、PTAだよりとして発行しているか、また、パソコンをどのように活用しているかなどが話し合われていました。

また、会計グループでは、各学校のPTA会費の額や集金方法の違いが出され、PTA会費は年間1,000円から2,500円まで幅のあることがわかったり、また、集金方法も役員が学校へ出向き、生徒から直接集金する方法や、学校納入金と一緒に口座引き落としする方法など、それぞれの利点や欠点が出されたり、また、PTA会費の未納者に対する方策や、周年行事のための積み立ての具体的なやり方など、各PTAで工夫されている点なども出され、大変有意義な話し合いがなされていました。

各校PTAを続けていく中で、当たり前のように行ってきたことが、ほかの学校のPTAと情報交換し、比較することで、これからの改善点として認識できたり、また他校のやっている活動を自分たちのPTAにも取り入れたいなど、有意義で実のある交流会になったと感じました。副会長、会計、書記、広報、研修、文化、校外活動と、各部の役員が役職ごとに分かれての交流であったことがよい結果になったと思います。

交流会後の研修は「楽ちんなのに10歳若返る」という題目で細胞活性ストレッチ理論を聞いた後、全員で楽しく体を動かしましたが、静と動、両方あり、よかったです。今回の交流会は、どのようにしたらPTAにとってよりよい交流になるかということを考えて新たな形をとられたと思いますが、各校のPTAが活性化し、連携もさらに強まったと私には感じ取れ、大変よかったですと思いました。

11月28日、玉川学園にある「街の保健室R」の主催した講演会に行ってきました。「街の保健室R」は、元公立学校の養護教諭の方が、学校の保健室のようなものが地域にあったらいいなという発想のもと、平成23年3月に開かれた地域のための相談室です。

講演内容は、武蔵野ダルクという、あらゆる薬物からの解放を目的としたプログラムを

実践している団体から、実際に現在プログラムを受けている方と、薬物依存から完全に立ち直り、現在は武蔵野ダルク支援センターの代表を務めていらっしゃる方から話を聞くというものでした。

私はこれまで実際に薬物依存の方に会って話を聞くのは初めてでしたが、お2人の話を聞いて、家庭の中で子どもをいかに育てていくか、寂しい思いをさせず、大切に育てていくことが、将来薬物の誘惑に陥らないための一番の方策であると強く思いました。また、このように実際に薬物依存に陥ったことのある体験者の話を、ぜひ公立の学校の子どもたちにも聞かせ、薬物の恐ろしさを知ってもらいたいと思いました。各公立学校でも予防啓発活動をしているということでしたので、またこの武蔵野ダルクからも講師を呼ばれるといいと思いました。

最後に、この2学期に幾つかの小中学校の周年行事に参加いたしまして、それぞれの学校で子どもたちの様子を見てきました。式典に参加する子どもたちの様子がどの学校も立派で、感動することもたびたびありました。周年行事という節目を迎え、祝うことで、子どもたちは成長するのだと改めて感じ、周年行事を祝う意義を思い、指導して下さった先生方に改めて感謝しております。

以上です。

井関委員 今日3件ご報告させていただきたいと思えます。

今、高橋委員からもありましたけれども、周年行事が非常に多くなったということですが、11月10日に開かれた小学生と中学生全員が出席した小中一貫ゆくのき学園の開校記念式典、町田市初の小中一貫校ですので、私にとっても記念の式典でした。小中9年の差があるわけですが、小学校1年生が式典の終わるまで落ちついて座っているのに感心しました。この縦割りをぜひ生かしていただければと思いました。

4月6日の入学式のときに、校長先生が、ゆくのきを校内に植えると言われて苗木を見せてくださったのですが、今回、記念式典が終わりまして、小学生に「ゆくのきって、どこに植えたの?」と聞きましたら、1人の子が、こっちだ、こっちだと言って、校舎の西側にあるのを、そこまで連れていってくれました。少人数だということと、前身が小中2校からということなので、近隣でくっついていまして、大戸小学校の校庭を芝生を養生するので、半年間使えなくても、隣の武蔵岡中学校の校庭が使える。また、この記念式典自体でも、大戸小学校の体育館では式典を行って、懇親会は武蔵岡中学校の体育館で行うというような恵まれた学園でした。

あと、ご存じだと思いますけれども、中学校で自校の完全給食をやっている、町田の中では唯一の学校ということ、大戸小学校の給食設備の容量が、現在の中学生を対象にしても足りるからとのことでした。

2番目は、後で正式に報告がありますけれども、「あるく郷土史家、天野佐一郎展」に関連して、ギャラリートークと講演会とゆかりの地探訪会で、自由民権資料館に3回通いました。

以前、菅原神社にある井出の沢の碑を見に行ったことがあるのですが、そのとき生涯学習課の参事で、2010年3月に定年になられた天野三郎氏のおじいさんは偉い人だったと、その井出の沢の碑の碑文を書いた方ですが、そういうことを聞いていたのですけれども、どんな人だかは知りませんでした。今回、自由民権資料館で、その碑と天野佐一郎展がありましたので、よくわかりました。特に函師の人たちには尊敬されていたことがよくわかります。

今回の資料館の掲示などは、函師の町の中の掲示版全部に大きく張ってあります。佐一郎は町田から八王子に移って、八王子の郷土史家を随分育てたということですが、八王子空襲で資料が全部燃えてしまったのだそうです。今回展示の多くの資料は、八王子市以外にあった、そういう人たちが保存していたものが多かったと思います。ギャラリートークのときには、八王子市から来られた方が府立二商の教え子で、当時の集合写真を持ってきて見せてくれました。民権資料館の学芸員も初めて見るという写真のようでした。このギャラリートークのときには、元教育委員長だった井上恭一氏も参加されていました。

11月11日の講演会に出席しましたが、講師は忠生中学校の卒業生で、河合敦氏という方です。テレビのちょんまげで日本の歴史を解説するという事で有名な人です。河合先生は、佐一郎の生家の娘さんの家のプレハブの中であって、雨で濡れてしまった資料を半年ぐらいかかって自宅へ持ち帰り、それ以来ずっと佐一郎の資料を整理されたそうです。

この講演会にもゆかりの方が出席されていて、質疑の時間に随分昔の話をしてくださいました。佐一郎のお孫さんが、佐一郎の笑顔を見たことがなかった。写真を探したら、1枚だけにつこり笑った写真があったのが見つかったのですが、それを見た兄がびっくりしたということです。今になると、おじいちゃんと言いたかったと言っておられました。また戦後、中学生だった人が、忠生村役場に社会科見学に行って、受付で「村長に聞け」と言われたので、佐一郎のところに行くと、さっきの態度とは全然変わって、非常に優しく丁寧に話してくれたそうです。親族に対する厳しい態度と違って、外面がよかったん

ですかね、というようなことを言っておられました。

ほかの展示でも紹介したことがありますけれども、ゆかりの人が来られると、新しい話が随分聞けるんですね。そういう利点がありました。それから、資料館にとっては新しい資料が見つかる1つの道になるということもあるわけです。

11月23日のゆかりの地探訪会では、学芸員のかわりに、ここでも説明する人がいまして、この場合は民権カレッジの卒業生だったのです。佐一郎の生家にお邪魔したときには、前の生涯学習課の参事だった天野三郎氏が出てこられて、久しぶりに元気な姿を拝見できました。

3つ目は、先ほど教育長から報告のありました2つの全国及び東京大会、小学校で行われたものですが、いずれも町田の先生はやるなあという印象で、いわば圧倒された感じでした。これを引っ張っていかれた校長先生のご尽力というか実行力というのは並々ならないものですが、校長先生を支えている各学校の教員の方も、やったが勝ちで、授業力を向上させたに違いないと思いました。一言ですけれども、感想を言わないではいけない行事でした。

以上です。

佐藤委員 今回は市内の学校の児童生徒が集まって実施された音楽会について報告させていただきます。

まず11月6日、町田市民ホールで行われました町田市立中学校連合音楽会を鑑賞してまいりました。中学校の連合音楽会は年に2回実施され、吹奏楽を発表する1回目は既に7月に実施済みですが、2回目となる今回は合唱を基本とした音楽会で、午前中に10校、午後に10校、市内の全公立中学校が参加して行われました。

出演した団体の形はさまざまで、その内訳は、部活動として活動している合唱部が演奏したのは4校、校内合唱コンクールで優勝した学級が参加したのが7校、有志による合唱団が披露したのが8校でした。そして、ゆくのき学園、武蔵岡中学校は全校生徒がそろってステージに立ちました。

昨年度までと比べて、今年は有志による合唱が8校と多かったのが特徴ですが、その理由は、新しい教育課程では、選択教科という時間がなくなってしまったということが背景にあると思われます。これまでは選択教科で音楽を選んだ生徒には、連合音楽会出場を動機づけにして合唱を指導してきたという学校が何校もありました。そうした中学校は、選択教科がなくなってしまったために、出演が難しくなってしまったのですが、急遽、有志

を募り、恐らく昼休みなどに練習して出場にこぎつけたのだらうと思われます。教育課程が変わることによって大きく影響を受ける教育活動もあるというその一例ではないかというふうに感じました。こうした学校関係者の努力と工夫によって、市内20校がそろって実施することができた連合音楽会でありますので、今後も続けられるよう教育委員会としても応援していきたいものであります。

次に、11月28日と29日の両日、町田市民ホールを会場にして行われた町田市公立小学校合同音楽会を見学してまいりました。小学校の合同音楽会は、各小学校の5年生または6年生の児童が合唱や合奏を披露するもので、市内の全42校の小学校を7校ずつ、6つのグループに分け、28日、29日、30日のそれぞれ午前の部、午後の部に、割り当てられた7校が演奏するという形で実施されておりました。

私は3日間のうちの2日間にわたって鑑賞しましたので、合計28校の演奏を聞きましたが、いずれの学校の演奏にもそのすばらしさに感動し、またそれぞれの特徴が見られ、さらには音楽担当や学級担任が努力して指導してきた様子を感じ取ることができました。

残念なことは、市民ホールのステージで演奏している児童の姿を保護者に見てもらえないということです。7校で約700名の児童が参加している状態では、座席がほぼいっぱい、保護者の参観を自由に認めるわけにはいかないのでしょうか、児童が一生懸命演奏している姿を保護者にも見てもらえるような大きなホールがあればなという思いを強く感じました。

なお、私は教育委員会の挨拶をするという役割もあって出席したのですが、来賓席から眺めていますと、ステージでの演奏を鑑賞している児童の様子はもちろんのこと、引率してきた教員の動き、児童や教員にかかわる校長の姿勢なども見えてきて、各学校の状況の一部を把握することができました。そうした点からも、教育委員会事務局の皆様にも市民ホールでの様子をのぞきにきていただきかったと思います。

私たち教育委員にも同じ働きがあると思いますが、教育委員会のメンバーが姿をあらわすことで、学校や先生方は、教育委員会に関心を持ってもらっている、支えられていると思ったり、時には励まされている、しっかりやらなくてはいけないなどと感じたりして、一生懸命取り組もうとするものだと思います。

また、教育委員も事務局も、学校教育にしても、生涯学習にしても、その実際の活動を把握することによってこそ、日常の業務の意味合いがわかってくるのではないかと思います。事務局の皆様は、毎日多忙をきわめているということは十分承知しておりますが、管

理職の方もそうでない方も、短時間で結構ですので、活動の現場に足を運んでいただければありがたいなと思います。

以上で報告を終わります。

委員長 これまでの活動報告のところで、何かご質問、コメントはございますでしょうか。

私から、今の佐藤委員のお話に加えまして、ある校長先生からの話です。町田市は、もちろん鶴川第二中学校、鶴川第二小学校は大変有名になったのですが、それ以外の小中学校でも、合唱というものに関して大変実績を上げているところが多い。それは小学校では有志の合唱団があったり、中学校では部活や、あるいは今、佐藤委員のお話にありました有志の子どもたちのレベルが非常に上がっている。これを町田の教育の1つの特色として、歌のある町田の教育というような形で位置づけていけたらいいなというような意欲を持っていらっしゃる先生とお話をしましたので、そのことをつけ加えさせていただきます。

それから、今でなくて、後の報告の時間でよろしいのですが、先ほど教育長が川上村の方のご挨拶を受けられたということなんですが、12月2日に笹子トンネルの事故がありまして、これから子どもたちが川上村へスキー教室で行く予定が入っているかと思えます。笹子トンネルの事故がどのような影響を与えているのかということにつきまして、ご報告をお願いしたいと思います。

教育長 事務的なことを2つほど。

主な活動状況の一覧表の中で、今、佐藤委員の話にもありましたけれども、11月6日はここに「合同音楽会」とありますが、「連合音楽会」の誤りですので、その訂正と、それから、12月2日に町田市役所で行われた講演会の関係ですが、マルが高橋委員にしかついておりませんが、佐藤委員もご出席をいただいていると思えますので、そこにもマルを加えていただければと思います。

以上です。

委員長 訂正よろしいでしょうか。

では、以上で月間活動報告を終了いたします。

日程第2、議案審議事項に入ります。

議案第60号「町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について」を審議いたします。教育長から説明をお願いいたします。

教育長 議案第60号についてご説明申し上げます。町田市立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則についてでございます。

本件につきましては、現在定められております学期の期間につきまして、各学校が弾力的に定められるようにするため、改正を行うものでございます。

その内容につきましては、1枚めくっていただいた4番のところでございます「補足説明」をご覧くださいければと思います。学校側からの要望もございまして、今回この改正に至ったものでございます。具体的な新旧対照表は、もう1枚めくった資料のとおりであります。

説明は以上です。

委員長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますでしょうか。

佐藤委員 これもだんだん新しい教育課程になってくる経過の中で必要が生じた改正で、以前は夏季休業日に授業をやるなどという想定は全くなかった中での管理運営規則だったと思います。主として中学校ですが、現実には夏季休業日に授業をやるところもありますが、実施するに当たって、ここにもありますように、この規則との齟齬が生じていったということで、このように教育委員会で現実に対応できるように規則を変えていただいたことについて、学校側も大変喜ばれているのではないかと思います。

以上です。

委員長 ほかにございますでしょうか。 以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第60号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

続きまして、議案第61号「学校歯科医の委嘱(解嘱)の臨時専決処理に関し承認を求めることについて」を審議いたします。教育長より説明をお願いいたします。

教育長 議案第61号についてご説明申し上げます。学校歯科医の委嘱(解嘱)の臨時専決処理に関し承認を求めることについてでございます。

本件につきましては、つくし野中学校の学校歯科医である菊池大二郎先生のご逝去に伴いまして、町田市学校歯科医会の会長より後任学校歯科医の推薦をいただきましたので、町田市公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の任用等に関する規則に基づき委嘱(解嘱)を行うものでございます。

緊急のため、臨時専決処理をいたしましたので、本委員会に承認を求めるものでございます。任期は2013年3月31日までとなります。具体的には別紙の委嘱（解嘱）の一覧表のとおりでございます。

説明は以上です。

委員長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第61号は原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり承認することにいたします。

次に、議案第63号「町田市指定有形文化財の指定について」を審議いたします。教育長より説明をお願いいたします。

教育長 議案第63号についてご説明申し上げます。町田市指定有形文化財の指定についてでございます。

本件につきましては、町田市文化財保護条例第39条に基づき、町田市文化財保護審議会に諮問した市指定有形文化財の指定について、2012年12月3日に別紙のとおり答申がございましたので、町田市指定文化財に指定することにつきまして議決を求めるものでございます。

具体的には1枚めくった別紙写しでございますが、資料名にございますように、3つの文化財ということで、2点の縄文式土器並びに絵図ということになります。具体的なそれぞれの文化財の内容説明については、さらに1枚をめくっていただいた以降に説明がございますので、それによりご承知おきください。

説明は以上です。

委員長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますでしょうか。

井関委員 3つのうち、2つは土器で、もう1つは絵図というか地図ですが、絵図は127枚もあるというので驚いたのです。自由民権資料館で既に10枚ぐらいは見ていますが、まだたくさんあるということですね。

あと、土器は発見場所とか発見沿革はあるのですけれども、発見の年というのは、大体はおわかりでしょうか。

生涯学習総務課長 発見の出土の年月日につきましては、隆起線文土器につきましては、昭和 52 年に出土されて、53 年に復元されました。爪形文土器につきましては、昭和 54 年に出土されまして、復元は昭和 57 年となっております。

以上です。

委員長 よろしいでしょうか。ほかにございますでしょうか。 以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第 63 号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

次に、議案第 64 号「まちだ市民大学 H A T S プログラム委員の委嘱について」を審議いたします。教育長より説明をお願いいたします。

教育長 議案第 64 号についてご説明申し上げます。まちだ市民大学 H A T S プログラム委員の委嘱についてでございます。

本件につきましては、まちだ市民大学 H A T S の 2013 年度プログラムを開発するため、まちだ市民大学 H A T S 事業実施要綱第 4 に基づき、プログラム委員として委嘱を行うものでございます。

任期は 2013 年 11 月 30 日までとなります。

プログラムの内容ですけれども、別紙のそれぞれのプログラムでありまして、それぞれの委員につきましては、下にございます表のとおりでございます。

説明は以上です。

委員長 以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。ただいまの説明に関しまして、何かございますでしょうか。

以上で質疑を終了いたします。

お諮りいたします。議案第 64 号は原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

委員長 ご異議なしと認め、原案のとおり決することにいたします。

以上で議案審議事項を終わります。

次に、日程第 3、報告事項に入ります。追加の報告がございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、指導課からお願いいたします。

統括指導主事 報告事項1「2012年度『授業力・教育課題研修』アンケートのまとめについて」、ご報告をさせていただきます。

資料に提示しております。これについて、まず参加人数でございますけれども、小中合わせて1,335人、実質の人数でございます。参加率としましては約80%ということで、前回よりも若干増えております。

ただ、増えた中で特によかったなと思うところは、中学校の参加人数が、前は低かったところがありまして、ここを少し増やしたいなという思いもありまして、今回57名増加、9%ふえているということがよかったな。これについては、こちらの努力としては、校長会、副校長会で申し込みの途中経過を知らせて、各学校に何回か出席を呼びかけたことが、ある程度成果として出たのかなと思っています。

ただ、それと同時に、グラフを見ていただければわかると思うのですが、学校別で参加率のパーセンテージが出ております。これを見ていただきますと、6割未満の学校がまだ10校あります。これについて状況を把握するためにヒアリングを行った結果、まず声かけが少なかったのではないかという反省をする校長先生もいらっしゃったところもあります。また、ほかの行事と重なってどうしても出られなかったという学校もあります。この辺も早目に日程等を出してはいるのですが、もう少し学校と調整をする必要があるのかなと思っています。

また、下のほうに満足度と書いてある表がありますが、これについても肯定的な評価については95%以上いただいています。ただ、これについて、もう少し改善点を考えると、「十分当てはまる」が64%、6割ちょっとというところで、ここを目指して、上昇するところを目指していく必要があるかな。これについての具体的な手だてとしては、これもアンケートの満足度について経験年数別の分析を行って、どの経験年数に適した研修をもう少しやっていく必要があるのかといったことも、分析として考えていきたいと思っています。

裏面にそれぞれアンケートの感想、意見、要望等を記載しております。黒マルが要望として出ているところがございますが、これについても、こちらとしても若干改善する点があると考えていますので、来年度に生かしていきたいと思っています。

以上でございます。

委員長 では、生涯学習総務課、お願いいたします。

生涯学習総務課長 続きまして、報告事項2から6まで報告させていただきます。

まず報告事項2「町田市国史跡高ヶ坂石器時代遺跡保存管理計画策定検討委員会設置要綱の制定について」、報告いたします。

この要綱は、高ヶ坂遺跡公園整備に伴い、保存管理計画を策定することを目的として委員会を置くためのものです。「要旨」につきましては、当委員会の組織、運営について定めるものです。

1枚めくっていただきまして、こちらの組織としては、学識経験者3人以内、郷土史知見者2人以内、住民代表1人、計6人以内となっております。

実際の委嘱につきましては、次回の教育委員会で議案として提案させていただく予定であります。

施行日につきましては2012年12月1日、来年度内に計画を策定する予定でありますので、要綱の効力は2014年3月31日までとなっております。

続きまして、報告事項3「平成24年度地域文化功労者表彰(文部科学大臣表彰)の受賞について」、報告をさせていただきます。

こちらにつきましては、町田市の指定無形民俗文化財である矢部八幡宮獅子舞保存会が地域文化功労者表彰(文部科学大臣表彰)を受賞いたしました。功績につきましては、主にここに書かれてあるとおりなのですが、獅子舞の保管・管理の功績、2つ目として、無形文化財保存の功績、3つ目として、普及・育成の功績となります。

11月15日に文科省におきまして表彰式が行われまして、20日には、教育長から報告がありましたとおり、市長表敬訪問が行われました。

獅子舞の概要につきましては、資料記載のとおりでございます。

続きまして、報告事項4、自由民権資料館企画展、天野佐一郎展の実施報告をさせていただきます。

開催期間につきましては、10月6日から11月25日の44日間になります。入館者数は1,352人で、目標の1,000人を達成いたしました。その理由として考えられることは、レジュメの下の欄に記載したとおりですが、特に開催期間中におまつりを開催したこと、それから井関委員の報告にもありましたが、函師地域の方々にご協力をいただいたことなどが主な要因になります。なお、各開催イベントの結果につきましては、資料記載のとおりとなっております。

続きまして、報告事項5、自由民権資料館「資料館まつり」の実施報告をさせていただきます。

こちらは、昨年度、開館 25 周年を記念して資料館まつりを開催し、多くの皆様に来ていただきました。今年度も引き続き地域の皆様の協力をいただき、11 月 3 日に開催いたしました。合計 307 名の方にお越しいただくことができました。特に今年は小学校高学年が理解できることを基準にした自由民権運動について学芸員から話をするなど、子ども対象のイベントを増やした結果、小学生の来館がとて多くて、いつもの資料館とはちょっと違うにぎやかな 1 日を過ごすことができました。また販売につきましては、地域の方々とか福祉施設の協力で行いました。開催イベントの結果につきましては、資料記載のとおりです。なお、古本市や屋台の売り上げにつきましては、東日本の大震災の被災者への義援金として寄附をさせていただきました。

報告事項 6、新指定文化財特別公開の開催について、報告をさせていただきます。

こちらの表題に「仮」と書いてありますが、先ほどご承認をいただきましたので、「仮」は取っていただきたくお願い申し上げます。今回の教育委員会で承認されました新指定文化財につきまして、市民に広く公開するために、指定記念展示を行います。場所は自由民権資料館において、1 月 5 日から 3 月 24 日まで行います。

なお、資料に書かれてありますとおり、絵図につきましては、長期間の展示により劣化を防ぐため、それと、枚数も多いので、2 週間ごとに絵図を入れかえて、期間中に町の分を全部展示したいと考えています。期間中、毎週土曜日の 2 時より展示解説を行っていく予定です。これにつきまして、プレス発表ですが、文化財の新指定と展示について、あわせて 12 月 25 日に、市長によるプレス発表、記者会見を行う予定です。

報告は以上です。

委員長 次に、生涯学習センター、お願いいたします。

生涯学習センター長 生涯学習センターからは 2 件報告させていただきます。

報告事項 7「まちだ市民大学 H A T S プログラム委員選任要項の制定について」でございます。

まちだ市民大学 H A T S のプログラムについては、まちだ市民大学 H A T S 事業実施要綱第 4 に基づきまして、プログラムに関する助言、指導をいただくために、プログラム委員を設置しております。そのプログラム委員について、任務、選任、任期、人数等を定めるために、選任要項を制定するものでございます。

施行期日は教育委員会開催日の本日、2012 年 12 月 14 日からいたします。

続きまして報告事項 8「町田市生涯学習ボランティアバンク事業実施要綱について」で

ございます。

生涯学習ボランティアバンクは、知識や経験をお持ちの方で、地域に還元したいと思っている方と、知識、技術を習得したいと希望されている方をつなげる事業でございます。事業を実施するに当たり、バンクの登録資格、登録方法、利用申請、報告書などを定めました実施要綱を制定するものでございます。

内容ですが、登録者は、政治、宗教、営利を目的としないボランティアになります。また利用者は5名以上の団体とし、他市の事例を参考にしながら、トラブル事例の多い個人利用は不可とさせていただきます。

この要綱は2013年1月1日から施行いたします。

なお、ボランティアバンクのPRでございますが、1月11日発行の広報で登録者へお知らせをしまして、2月21日発行号で利用者へお知らせをいたします。また、ホームページ、町内会、自治会、関係機関、大学等へのチラシ配布、まちだの教育、生涯学習N A V Aなどで事業の周知をまいります。

報告は以上です。

委員長 続きまして、図書館、お願いいたします。

図書館副館長 それでは、報告事項9「2011年度 『町田の図書館』の発行について」、ご報告いたします。

2011年度の図書館の実績等をまとめました「町田の図書館」ですが、2011年度の特徴といたしましては、初めて実施した第1回まちだとしょかん子どもまつりについて記載したこと、これは24ページに載せてあります。また統計では、年々増加していたリクエスト件数が減少したことがあります。なお、構成、作成数等については以下のとおりです。

「構成」ですが、各図書館の案内や主な取り組み等をまとめた「概要編」と実績をまとめた「統計編」の2部から構成しております。「概要編」では、各図書館の案内、移動図書館サービスステーション一覧等、あるいは図書館の取り組み等についての解説、「統計編」については、図書・雑誌等の所蔵数、あるいは登録者数、貸出状況等の統計をまとめたものになっております。「作成数等」は、庁内印刷で300部作成いたしまして、都内の図書館や相互利用をしている各図書館にお配りし、また図書館の資料として閲覧、貸し出し等をいたします。

以上です。

委員長 文学館、お願いいたします。

図書館市民文学館担当課長 報告事項 10「『滑稽とペーソス～田河水泡“のらくろ”一代記』展の開催要項について」、ご説明申し上げます。

2012年冬の企画展といたしまして、1月19日より3月24日まで、55日間開催いたします。

漫画家・田河水泡、本名・高見澤仲太郎は、昭和44年に町田市に引っ越し、90歳で亡くなるまで町田市に住んでいました。本展では、約100点の原画を初めとする書簡や雑誌、書籍などの資料を、講談社、江東区森下文化センターの田河水泡・のらくろ館などよりお借りし、展示します。これらを通じて、戦後の漫画家に影響を及ぼしたのらくろの人気の秘密、作品に通底するペーソスの理由を探ります。なお、今回は有料展となります。また、図録を作成し、販売いたします。

続きまして、報告事項11「三浦しをん『まほろ駅前番外地』ドラマ放映記念 まほろの住人十色 展」の開催要項について、ご説明申し上げます。

文学館の冬のみニ展示といたしまして、12月18日より3月31日まで84日間開催いたします。著者の三浦しをんは、町田市に10歳のころから20年以上住んでおり、2006年にシリーズ1作『まほろ駅前多田便利軒』で第135回直木賞を、2012年には『舟を編む』で第9回本屋大賞を受賞しています。

なお、今回の展示につきましては、冬の企画展「～田河水泡“のらくろ”一代記展」と一時重複する期間がございます。そのため、展示につきましては、文学館の1階部分、正面玄関を入ったところの文学サロンとその先の扉をあけたところの閲覧室を使って行います。展示では『まほろ駅前番外地』を、ドラマ、小説の両面からご紹介いたします。

続きまして、報告事項12「翻刻『八重山吹』の刊行について」、ご説明申し上げます。

このほど町田市民文学館は、古文書に精通した市民による「五十嵐濱藻・梅夫研究会」との市民協働事業として、翻刻『八重山吹』を刊行しました。

『八重山吹』を刊行した五十嵐濱藻は、1772年（安永元年）武州大谷村（現・町田市南大谷）の名主の長女として生まれ、祖父や父の影響で若いころから俳諧を学び、小林一茶や夏目成美といった当代一流の俳人と親交があった女流俳人です。本書の刊行が、1人でも多くの市民が五十嵐濱藻や『八重山吹』の存在に触れ、連句という我が国固有のすぐれた伝統文芸に関心を寄せるきっかけとなればと思います。

報告は以上でございます。

委員長 それでは、先ほどお願いした学校教育活動の笹子トンネル事故の影響について、

お願いいたします。

指導課長 川上村の移動教室ですけれども、先週 12 月 6 日から 7 日に、校長会の担当者、移動教室該当校の担任、それと事務局からは指導主事を 1 名同行させて、実地踏査に行っていました。

状況なんですけれども、行き帰りともトンネルが使えませんが、行きの場合には大月インターで下りて、国道 20 号を通過して、勝沼インターから再び乗る。帰りはその逆という形をとりました。行きについては、おおむね 1 時間余分に時間がかかったということ、帰りは比較的空いていて、45 分ぐらいのロスで済んだということです。先日ニュースでは、今後下り線を使っただの対面通行というような話が出ていますけれども、これはまだ未定ですので、下道を使うということが主になるかなというふうには思っております。

課題としては、時間が余分にかかってしまいますので、特に帰りの日の向こうでの活動時間、活動内容を若干繰り上げる等の措置は必要かなと思っております。実際に始まるのは 1 月、三が日に入ってからになりますけれども、修復の状況を見ながら、また検討していきたいと思っております。

以上です。

委員長 それでは、報告事項に関しまして、何かございますか。

井関委員 報告事項 9 の「町田の図書館」のこのグリーンのリーフレットですけれども、私は、このぐらい厚いものになると、いつも目的、方法、結果がわかるように、何か 1 枚入れておいてと言うのですが、今度のこれの初めを見ますと、重要事項、目玉が非常によくわかりました。

中を読んでいきますと、42 ページに「相互利用貸出」というのがありまして、周辺の相模原市民の登録者数が 2 万 5,000 と一番多くて、それ以外が意外と 200 ~ 300 ということで、多分この付近の方が、相模大野とか淵野辺の相模原の図書館に行くよりも、私どもの中央図書館に行くのが近いのかなという感じを受けました。

相模原市の図書館がどこにあるのか、ホームページを見ましたら、相模原の図書館では、1 発目にでっかく「図書館から重要なお知らせ」、要するに、返却期限を守らないと貸し出し予約を停止しますということで、平成 20 年の 11 月からやっているそうです。町田市でも、返さない人がいて困るとかなんとか、前にも言いましたけれども、返却されるまでは新しい資料は貸さないとか、予約を受け付けないというようなことも、我々のほうでも考えておられるのかなと思って質問いたしました。

図書館副館長 貸し出している資料を延滞している方について督促を行っているわけですが、今現在も、それでも返ってこない利用者に対しては、貸し出し停止という措置をとっております。ただし、貸し出し停止をするまでの期間が今は若干長いので、もう少し短縮する、あるいはやり方を省力化できるというようなことを検討しているところでございます。

佐藤委員 指導課から報告のありました報告事項1についてです。参加人数の増加ということについても、指導課の皆さんの大変なご苦労、ご努力がよくあらわれていると思いますが、特に参加した講座についての満足度の数字を見まして、すごい数字だなというふうに感心をいたしました。「十分当てはまる」が64%。どうかなと思うときには肯定的な答えを回答するにしても、大体3番の「どちらかと言えば当てはまる」を選びたくなるころを、「十分当てはまる」に64%の参加者が印をつけたというのは、すごく高い数字だなと思います。恐らくこの研修会の内容について、かなりの工夫と努力がなされたんだろうなと思います。企画・運営された指導課の皆さんに敬意を表したいと思います。

以上です。

委員長 ほかにございますでしょうか。

では、以上で報告事項を終わります。

休憩いたします。非公開案件に関係の方のみお残りください。

午前11時05分休憩

午前11時07分再開

委員長 再開いたします。

別紙議事録参照のこと。

委員長 以上で町田市教育委員会第9回定例会を閉会いたします。

午前11時10分閉会